

わたしの 妊娠報告書

記載日 2012年 7月 日

おめでた宣言日	2012	年	月
年齢 (32) 歳	平成 (18) 年 (5) 月	結婚	
私は (体外受精)	で妊娠しました。		

不妊治療歴	別の病院では 1回 ASKAでは (1) 年 (8) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (タイミング 半年、人工受精 3回)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵	タイミング法 (1) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発	タイミング法 (1) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(5) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	(3) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精	() 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

最初は良いと言われる事は何でも取り入れておりましたが「何をしても授けられない。」「こんな事をしてはダメだ。」とやめて(王)のが(王)でして。2回目の体外受精の時は1回目がダメで「もうダメでもっと頑張らわ。」と考え、望みおいて「いつか、ママに選んでね。」と此の中で話で落ちついておいた。陽性反応は出来たが「心拍確認できず...」おき落ちました。再度3度目にチャレンジ。同じ様に望み「再度は産まれてくる体になって帰って来な。」と話し、流産からの移植まで半年からなので、移植の時は「おめでとう。」と思うと涙があふれて来て、移植できた事だけで幸せに思いました。結果の時の3度目で授かる事ができました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

ASKAに通院するまでに別の病院にも通っていたり、治療をやめて漢方を取り入れて自然妊娠を目指したりと長年頑張ってきたが、26で結婚し、30を過ぎ、あせりや不安から、もうとんとASKAで頑張ろうと決め、体外授精にチャレンジしました。

その他 (通院・治療費・家族など)

通院は車で1時間半くらいかかり大変でしたが、主人が、仕事終わりや仕事前には時間を調節し、ほとんど毎回つきまわってくれたのが、本当にありがたかったので苦痛には思いませんでした。体外も3度チャレンジしたので、治療費は本当に大変でしたが、主人と貯金がたまるまでとんとやる。と決め持ちました。私の両親も1度目の体外の時に助けてくれ、本当に有難く思いました。

治療中の方へのアドバイス

アドバイスなんて、何もはいって。赤ちゃんが生まれて必死で頑張る方々ばかり、何をすればいいなんて何もはいって思いません。でも私は、体外を3度挑戦し、流産を経験し、治療できる環境と、助けてくれる家族の有難さを日に日に感じ、空に向けて話し、気持ちがいっしょリラックスできた時に赤ちゃんが来てくれたのではとん思っています。頑張られている皆様すべての方に赤ちゃんが授かりますようにと願っています。

スタッフへのご意見など

体外授精を始め、注射の時に優しく話しかけて下さったり、採卵や移植の時は優しく腕をささってくれたり、「何かうまい話ありますか？」と一箱に願ってくれた優しい看護士さん達に本当に感謝しています。先生にも1度目がダメな時に「回ダメだからあきらめなくていい。」とか強い言葉を頂き、とんとやる。と思えました。卒業の日先生に「おめでとう。」と言ってくれたのが、本当に嬉しかったです。帰りは受付の皆さんにも「おめでとう。」と言ってもらい、胸が暖暖的になりました。本当にありがとうございました。元身は赤ちゃんを産みました。と、思っています。